

下町河川 Tomorrow

東京都・江東内部河川流域連絡会の情報紙（議事録）

平成15年10月17日（金）

第12回（第3期第2回）江東内部河川流域連絡会を開催



現地説明の様子



船による現地視察の様子



会議の様子

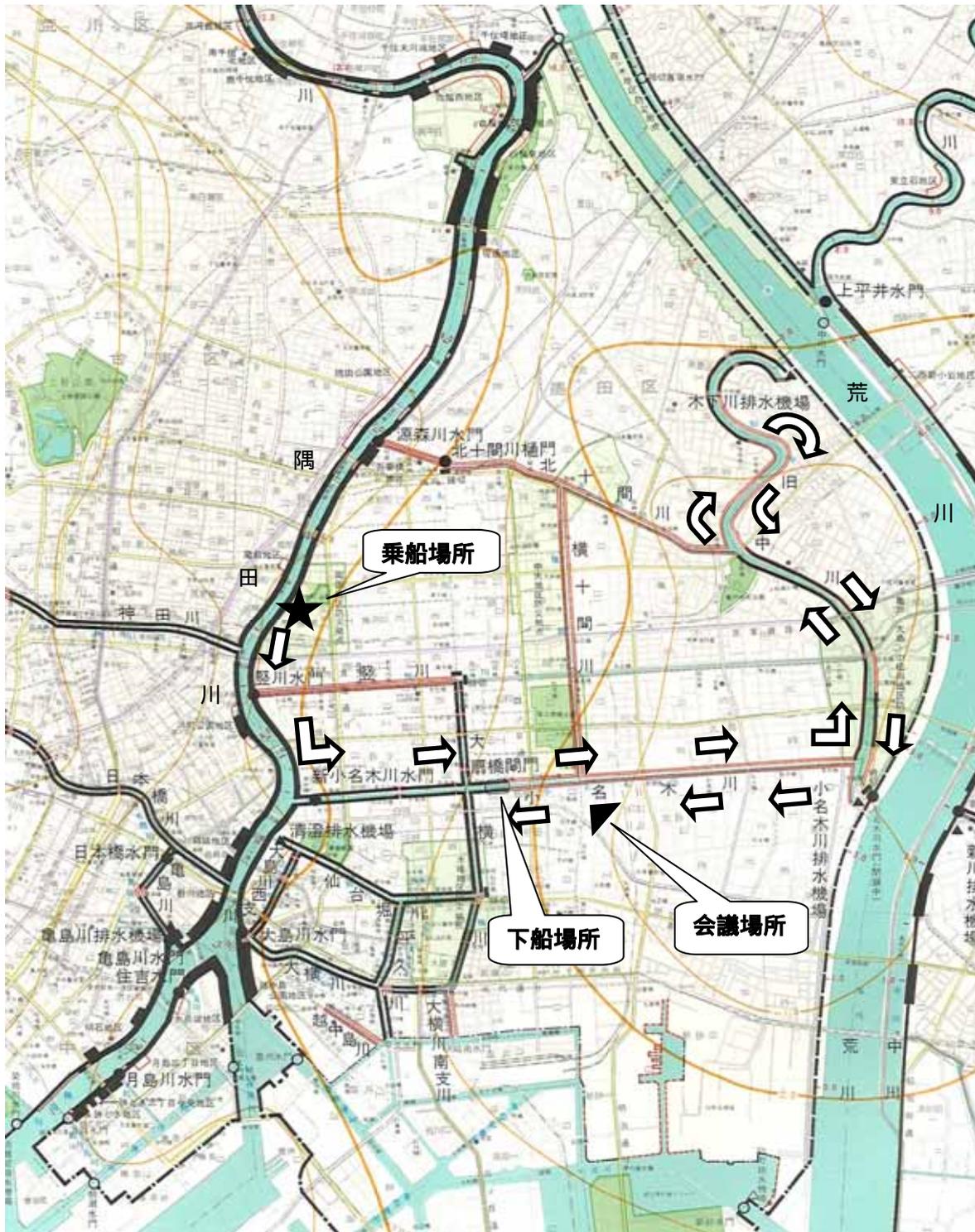
- ・江東内部河川を午後2時から約1時間半で船による現地視察を行い、その後、江東区スポーツ会館の会議室において約1時間で会議を実施しました。
- ・都民委員15名と墨田区、江東区、江戸川区、東京都建設局河川部及び江東治水事務所の行政委員5人等が参加しました。

出席者名簿は6ページ

流域連絡会の現地視察

東京水辺ラインの両国船着場から乗船して、隅田川、小名木川、旧中川、横十間川を通り扇橋閘門で下船しました。

現地視察コース図



数字は後ページの写真箇所

流域連絡会の議事の概要

流域連絡会の今後の進め方

- 『流域連絡会の開催は1年に4回程度とし、テーマを決めて委員全員で情報交換し討議していく。』
- ・ 討議の結果、以上の通りとなりました。
 - ・ 討議するテーマについてはアンケート調査の結果を考慮して決め、開催前に通知します。

現地視察の感想・意見等



両国船着場から、2隻の船に分乗して視察に出発しました。
< 視察コース図 >



小名木川の東側は人工的に平常水位をAP. -1mに下げしており、潮の干満により西側と約1～3mもの水位差があります。このため、扇橋開門で2つの水門操作により水位を調節して船を通行させています。
< 視察コース図 >

- ・ 川は私たちにとって親しみのある大切なものだと思う。船で見て、汚い豎川に比べて小名木川などはうらやましいと思う。
- ・ 怖い大水はなくなり、川に水鳥が来たり桜が咲いたり大変良くなったが、他の所を見るとまだもう少しきれいになるのかと思った。
- ・ 江東内部河川を泳げる川にしたい。また、ウォーキング大会等ができるような河川敷の整備をしたらいいと思う。
- ・ 旧中川は自然の草木が生えて、特に蛇行が目に見えて分かるのでそういう所を生かした川にして欲しいと思う。
- ・ ただ川をきれいに整備するだけでなく、ボートを借りるなど、人が川に触れて親しめる川を考えてもらいたい。
- ・ 旧中川は、両側に石が積んであり消波効果もある。コンクリーや鉄板でなく、魚が棲みやすい岩や土で整備されたい。



水位低下した東側の小名木川。マンション等に挟まれ、番所橋付近から整備が始まりました。
< 視察コース図 >



小名木川から入った旧中川下流の平成橋付近。橋の後方に荒川ロックゲートが工事中でした。
< 視察コース図 >



再開発で整備された亀戸・大島・小松川地区の真中を流れる完成した旧中川。休日には釣人も多く見られます。
< 視察コース図 >



旧中川中流のふれあい橋付近。既に完成し、今年の夏も「灯籠流し」が行われて大勢の人々が集まりました。
< 視察コース図 >



旧中川上流の平井橋付近。整備の途中ですがアシが茂っていて野鳥も見られます。
< 視察コース図 >



横十間川と交差する小名木川のクローバー橋付近。
9月に「水彩フェスティバル」が行われ、大変賑わいました。
<視察コース図 >



クローバー橋から西の小名木川は、川幅が広い。
手前は橋の取り付け工事で完成し、その前方は未整備です
<視察コース図 >



扇橋閘門の船着場で下船し、この後、歩いて会議場へ移動しました。
<視察コース図 >

- ・扇橋の水門で始めて船上から開閉の体験をした。小名木川では護岸工事により視野が開け、将来遊歩道になるのを楽しみにしている。
- ・船から見て、番所橋や丸八橋が急坂の理由が分かった。またウォーキングやボート乗りができる観光スポット的なことをやったらよいと思った。
- ・扇橋の水門にあれだけの水位差があるとは全く思っていなかった。また、旧中川上流のアシを見て、少し自然を残して整備されたいと思った。
- ・扇橋の水門について本当に知らなかった。何でも目新しく映るものを勉強しなければならぬと思う。
- ・桜の植樹について、地元が苗から育て移植するなど地元参加の形とか、もっとやり方がある。旧中川の整備や行事など、行政だけでなく住民参加でより親しみのある川になっていくと思う。
- ・今整備されている河川を有効に活用し河川の水質環境や危険箇所など、様々な教育的効果があるイベントをやってもらいたい。
- ・住民が建物を川に向けようという意識を持てば、川辺の風景は変わるのではないかと感じた。旧中川の上流に行くと水が臭く汚い。将来、泳げる川になればと思った。
- ・船に乗り、旧商船大学の Cutter が内部河川を通っているのだと思い、また内部河川について勉強しなければいけないと思った。
- ・単に川だけを整備すればよいのではなく、できる限りの情報公開と住民参加により様々な意見を聞くべきと思う。

流域連絡会の今後の予定

今後の進め方についての討議により、1年に4回程度開催することになったため、次回は12月から1月、その次は来年2月から3月の開催を予定しています。

第12回出席者名簿

平成15年10月17日現在
敬称略 都民委員は区別・50音順

		住 所 ・ 団 体 名	氏 名
都 民 委 員	個 人	墨田区	慶野 とよ子
		墨田区	小出 義隆
		墨田区	田中 兼勝
		墨田区	増田 淳子
		江東区	菊地 進一
		江東区	黒木 正幸
		江東区	戸田 紀美子
		江東区	氷見 修三
		江戸川区	江頭 正恭
		江戸川区	谷川 貞夫
	江戸川区	山内 久二	
	団 体	江東区和船友の会	河合 未二
		江東区の水辺に親しむ会	須永 俣子
		東京海洋大学海洋工学部	深野 利幸
		江戸川区人力共漕会	五十井 恵
		所 属 ・ 職 名	氏 名
行 政 委 員	墨田区都市計画部都市整備担当 都市施設課事業推進担当主査	鈴木 敏夫	
	江東区土木部水辺と緑の課長	井熊 章	
	江戸川区土木部計画課長	高井 聖	
	東京都建設局河川部副参事(総合治水・低地河川防災計画担当)	橋本 栄良	
	東京都建設局江東治水事務所内部河川工事課長	阿久津 勉	

座長

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）
担当：小菅、長尾
TEL：03-5670-6885（直通） **FAX** 03-3696-6499